

校是

自立と貢献

1. 校是について 「自立と貢献」の意味するところ

(1) 自立について

自立と自律

自立・・自分の力で考え、判断し、行動する力を育成する

自立とは何でも一人でやることではない。「うまく人に頼ることができる」=社会的自立が大切。

我々教職員は・・・ 声を聴く、認める、ほめる（評価する）ことを心がける

(2) 貢献について

社会の多様な人たちの考えに触れ、それを尊重して受け入れる力我々教職員も・・・ 互いに尊敬の念をもってすすんで協働する生徒が当事者意識をもってクリティカルシンキングができる力を育成

↓

↓

「解決の主体は自分」「本質を見抜く目、分析的思考力、深く考える力」

※二項対立（賛成か反対か、A案かB案か）ではなく、

A案でもないB案でもないさらに上の合意を目指す

2. 取組の柱

(1) 楽しい授業の実践

①わかった②できた③大切にしてもらえた

小中連携

- ①小中合同研修会
- ②学校行事や授業の相互参観→相互理解
- ③行事交流
- ④ブロック校長会・教務主任会

- ・自己存在感の感受を促進する授業
- ・共感的な人間関係を育成する授業
- ・自己決定の場を提供する授業

誰にとってもすこしやすい教室・学校が基本

①自己存在感の感受

「自分も一人の人間として大切にされている」

②共感的な人間関係の育成

「認め合い・励まし合い・支え合える集団」

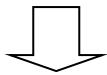
③自己決定の場の提供

「自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する」

④安全・安心な風土の醸成

特別支援教育を柱にした「子どもが落ち着いて過ごせる学校・学級」

- ・指示や説明が、端的にわかりやすい
- ・口やかましくなく、話が短い
- ・子どもに多くの活動をさせている
- ・さりげない「ほめ言葉」が多い
- ・教室環境が整っている



不登校対策

①特別支援教育を柱にした「わかる授業」

さまざまな支援を必要とする生徒の「授業がわからない」という声に耳を傾ける
→2次障がいとしての不登校を防ぐ

②S R、L D通級教室の効果的な利用・・学級担任、教科担任との連携

③ふれあいの杜、フリースクール等との連携

(2) 働き方改革

2021年→2022年 月平均の時間外勤務は約1時間縮減しているが、依然として深刻な状況
単に時短だけを目指すのではなく、風通しの良い働きやすい職場作りを！

①ゆとり

学校行事の精選

目標を共有した上で、行事の見直しをすすめる

※生徒のどんな力を伸ばしたいのかを意識して共有する

②リスペクト

互いに立場や考え方の違いを理解し、尊重する

③協働

対話を通じて、他者と共通の目的を見つけ出す

その共通の目的のために協働する

誰にとっても過ごしやすい教室・学校を基礎にした働き方改革

○教職員集団の同僚性を大切に育むために

①教職員の受容的・支持的・相互扶助的な人間関係

②教職員のメンタルヘルスの維持とセルフ・モニタリング

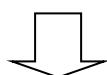
○生徒と同様に我々教職員も・・

①自己存在感の感受

②共感的な人間関係

③自己決定の場

④安全・安心な風土 が大切



教職員が明るく働ける学校

=生徒にとって過ごしやすい学校づくりにつながる！